

大原則：自分自身と周囲のスタッフを感染から守る
蘇生に関わる人員は最小限で！
患者に触れる前に、必ずPPE（個人防護具）を着用する

CPR開始

- BVMにはフィルター付人工鼻装着，リークを最小限に
- 直ちに気管挿管の準備を！

リズムチェック

VF/pulseless VT



Shock

PEA/Asystole

気管挿管（CPRは中断する！）

- 胸骨圧迫中断し，経験豊富なスタッフが1回で挿管を
- ビデオ喉頭鏡の使用を推奨，挿管困難→声門上気道器具
- 挿管できたら人工鼻装着した人工呼吸器に接続を

CPR 2分間
静脈路確保

CPR 2分間
静脈路確保
アドレナリン 1mg iv.

リズムチェック

VF/pulseless VT



Shock

PEA/Asystole

CPR 2分間
アドレナリン 1mg iv.

CPR 2分間

PPE装着し最少人員で・人工鼻をつけて・速ちに気管挿管を！